

自治体の課題、現状

本市においては、4校の公立中学校があり、生徒数555名で34部活動が活動している。部活動によっては、全ての学校に入っていないこともあるので、生徒によっては、希望する部活動に入れていないこともある。また、生徒数の減少により、学校単独で実施することができず、市内や市外の中学校と合同で実施している部活動もある。教員の働き方改革の一環として、本市においても部活動地域移行を進めることで、生徒が希望する部活動に加入し、専門的な技術指導を受け、生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動を楽しむことができるようにしていく必要がある。

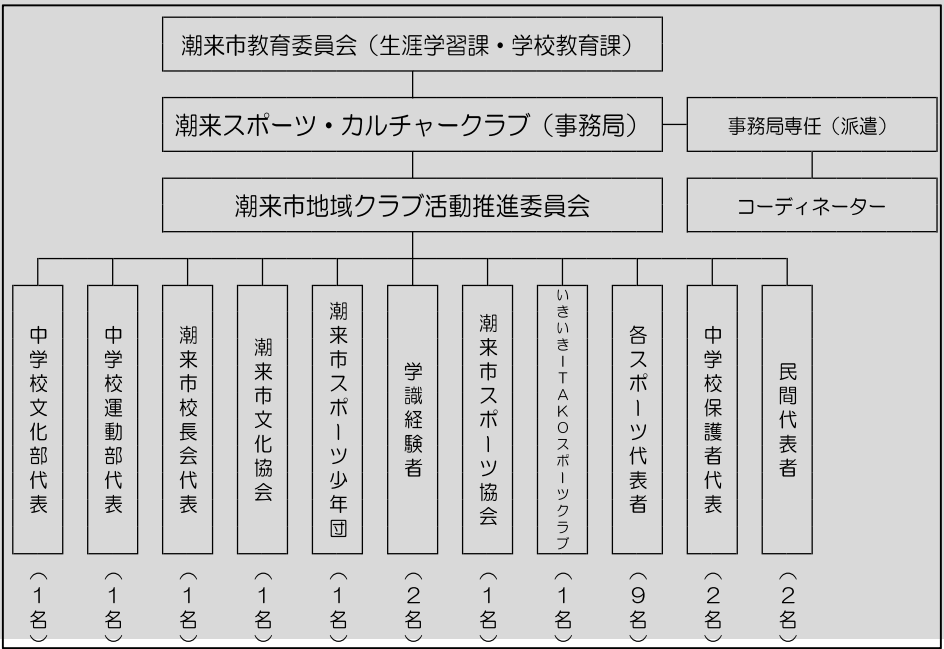
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	4 校	全生徒数	555人
域内の部活動数	34部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	-	全体の運営スタッフ数	-
主な運営団体	潮来市剣道連盟少年部		
主な種目	剣道		
平均的な活動回数	8回/月	年間平均参加生徒実数	3年：5人/クラブ 2年：5人/クラブ 1年：5人/クラブ
参加会費	-	主な活動場所	潮来第一中学校 外2校

地域移行関連の取組、成果

- 本市では地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業は初めての取組である。スポーツクラブとして活発的に運営してる潮来市剣道連盟少年部に対して、中学生を指導している指導者への謝金支払を実証事業とした。
- 今回、潮来市剣道連盟少年部への実証事業を実施したことで、他のスポーツクラブの指導者の確保、そして、受け皿となる潮来市の他のスポーツクラブの設立につながった。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県 潮来市

自治体名： 茨城県 潮来市
担当課名： 教育委員会学校教育課
電話番号： 0299-63-1111

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

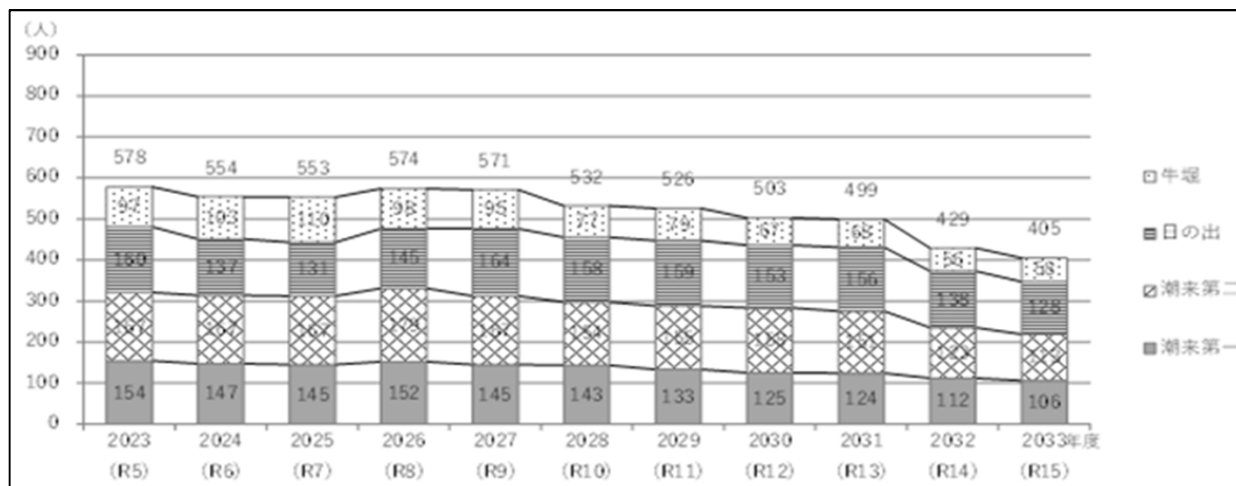
基本情報

面積	総面積71.4㎡
人口	26,316人
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	555人
部活動数	34部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

本市においては、4校の公立中学校があり、生徒数555名で34部活動が活動している。部活動加入者は452名、103名の部活動未加入者の内、71名は外部のクラブに加入、32名は未加入である。部活動によっては、全ての学校に入っていないことともあるので、生徒によっては、希望する部活動に入れていないこともある。また、生徒数の減少により、学校単独で実施することができず、市内や市外の中学校と合同で

実施している部活動もある。教員の働き方改革の一環として、本市においても部活動地域移行をすすめることで、教員への業務負担の軽減を図る。また、生徒が希望する部活動に加入し、専門的な技術指導を受け、生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動を楽しむことができるようにしていく必要がある。

潮来市立学校児童生徒数の推移

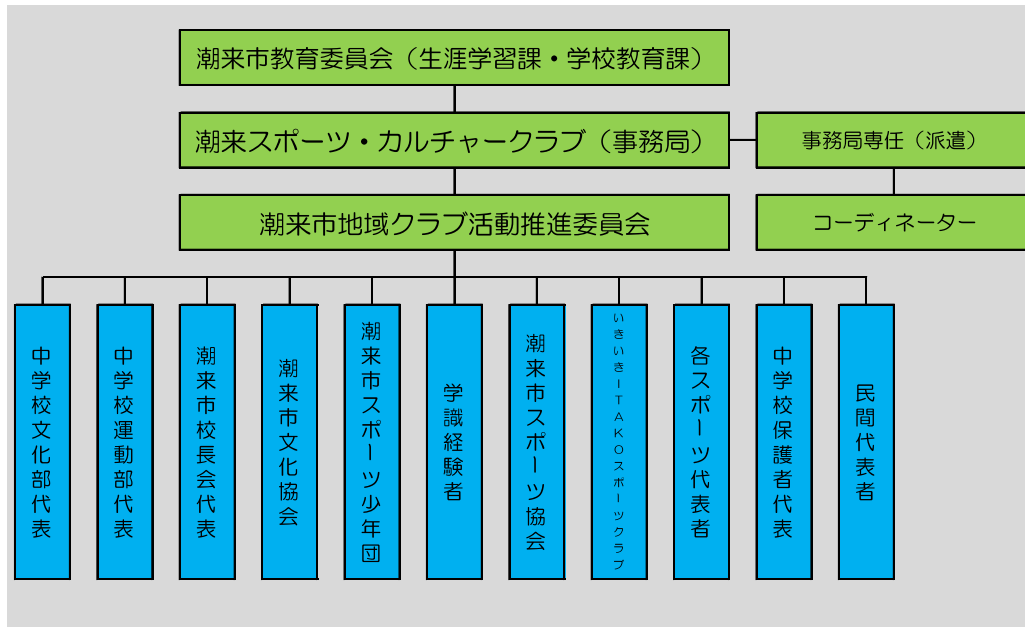


出典:第2期潮来市学校適正化計画

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課…学校との調整、連携
- ・生涯学習課…指導者との調整等

◎首長部局

- ・財政課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年4月	保護者説明会
令和6年4月～	市内中学校合同部活動の実施
令和6年5月	第1回検討委員会開催
令和6年8月	指導者研修会
令和6年8月	第2回検討委員会開催
令和7年1月	実証事業開始
令和7年2月	第1回地域クラブ活動推進委員会開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		
全体の指導者数	9人	全体の運営スタッフ数	9 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
潮来市剣道連盟少年部	任意団体	剣道	週 3回	午後	1年生5人 2年生5人 3年生5人	R7.1月 ～R7.2月	潮来第一中学校、 潮来第二中学校、 日の出中学校	9 人	9 人	月会費 -	参加なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 特になし

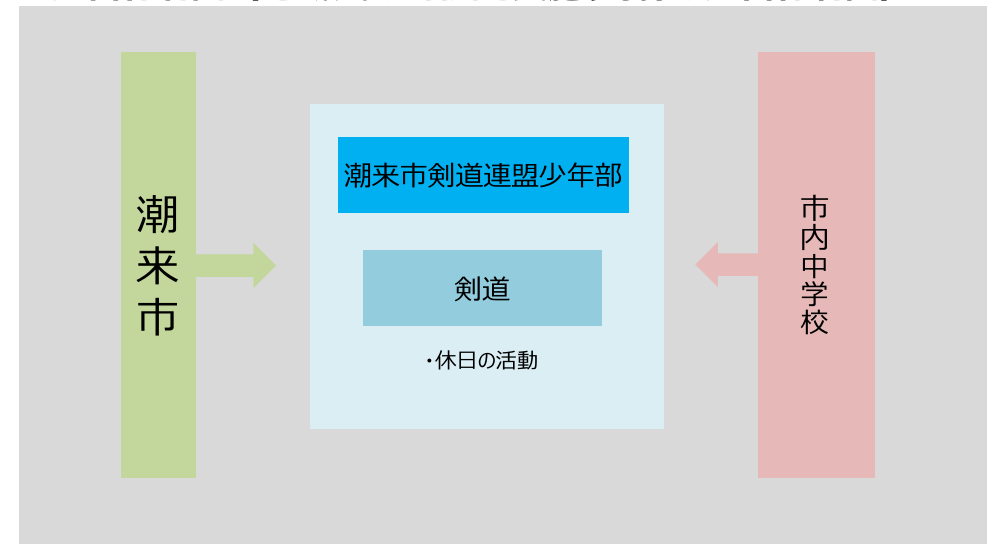
2.実証内容と成果

主な取組例

●潮来市剣道連盟少年部 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営団体名	潮来市剣道連盟少年部
期間と日数	野球：1月1日～2月28日 月3回程度
指導者の主な属性	競技経験者等
活動場所	潮来第一中学校、潮来第二中学校、日の出中学校
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（月額）	-円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●指導者 9名

役割：休日の活動において、生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 潮来市教育委員会と学校代表、学識経験者、いきいきITAKOスポーツクラブ、スポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会等の関係団体や保護者を含めた体制を整備し、計画的な移行を進める。
- 地域展開を見据えて活動する「潮来市剣道連盟少年部」と連携する。

取組の成果

- 推進体制として「潮来市地域クラブ活動推進委員会」を立上げた。
- 約2か月ではあったが、潮来市剣道連盟少年部の運営体制整備を整えることができた。
- 2月に開催した潮来市地域クラブ活動推進委員会のなかで、今回の取組を報告したところ、剣道部だけではなく、クラブチーム立上げの機運が高まっているところである。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 配置なし

今後の課題と対応方針

- 令和7年度も地域クラブ活動推進委員会に諮りながら、地域展開の取組を進める。
- 潮来市地域クラブ活動人材バンクなど積極的に活用しながら、人材の発掘をしていく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○地域移行を展開するため、これまでの検討組織である潮来市地域移行検討委員会に加え、新たに潮来市地域クラブ活動推進委員会を設置した。今年度は、第1回の会議を令和7年2月に開催した。

会議の中で、課題が明確になってきたため、その課題を各担当スポーツの推進委員と中学校部活動顧問と協議していく必要がある。

○実証事業として剣道部の休日の活動を実施した。この活動を他の協議に広げていく。

●成果の評価

○実証事業を実施した剣道以外の種目について、積極的に調整を進めていく。

●今後に向けて

○各団体と連携をし、また、潮来市地域クラブ活動人材バンク等を活用しながら、指導者の確保を進める。

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

市内中学校長、スポーツ協会、スポーツ少年団、各スポーツ代表者

●経過

令和4年11月に第1回目の潮来市部活動地域移行検討委員会を開催し、潮来市の現状と論点の整理の確認を行った。令和6年10月に推進計画を策定し、令和8年度から段階的に移行していく計画とした。また、可能な部活動から、休日部活動の地域クラブ化を進めていく。

令和6年度には、潮来市内各部活動における合同部活動の練習を実施し、剣道部においては、部活動地域展開に向けて先行的にクラブ化を実施した。

令和7年2月には、より具体的に地域展開を進めるために、潮来市地域クラブ活動推進委員会を開催した。

●実施にあたって生じた課題

○部活動の地域展開において、指導者の確保が重要な課題であるが、潮来市地域クラブ活動人材バンクを活用していく。

●今後の展開

○令和7年度も実証事業が可能な競技について実施・検証を行う。

○定期的に指導者の育成及び研修を実施し、指導者の資質・能力の向上に努める。

○地域クラブ活動が円滑に進むように、コーディネーターの配置を検討する。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和6年度以降の「休日部活動の地域移行に向けた今後の見通し」(案)

年度	R 4	R 5	R 6	R 6 10月～	R 7
検討委員会	①・委嘱・諮問 ・現状と課題 ②・合同部活動について ・市内クラブ団体について ・検討事項について	③ (R6. 3月)・検討事項について ④ (R6. 5月) ・合同部活動について ・市内クラブ団体・モデル移行等について ⑤ (R6. 8月)・提言案検討 ※検討委員会 令和6年9月まで延長	推進協議会	・指導者報酬について ・運営団体の検討・設立 ・地域移行に向けた準備(指導者・施設設備の確保、規約・運営方針の策定、会費等)	
市内団体		・学校合同部活動への試行参加 ・(一部)部活動におけるモデルとなる休日地域移行			・(可能なところから)休日地域部活動の開始
中学校	・学校合同休日部活動に向けた環境整備	・休日学校合同部活動の一部実施 ・休日学校合同部活動の完全実施に向けた制度の検討	・休日学校合同部活動 ・拠点校部活動 ・段階的な休日学校		・教職員の兼職兼業の許可 ・休日地域部活動との連携
		・新部活動運営方針の遵守 ・地域指導者の参加			
市教委等	・検討委員会準備・運営	・指導者の確保 ・部活動指導員予算の拡充 ・兼職兼業制度の整備 ・地域・保護者への説明	・指導研修会の開催 ・支援策の策定		
国県等	・兼職兼業制度の整備 ・大会参加要件の見直し ・運営団体や家庭への支援 他				

令和 8年4月～ 潮来第一中学校・牛堀中学校統合